

職員による自己評価

保護者による評価

A 環境面

・活動スペースを十分に確保し、内容に応じた使い分けができています。

B 児童への支援内容

・児童が楽しく継続して参加しており、サッカーに特化した活動を中心に実施している。

C 情報発信・関係機関との連携

・公式アプリ・LINE で迅速な情報発信を行い、協議会や近隣事業所との交流（見学会の開催）、情報交換にも積極的に取り組んでいる。

D 非常対応

・安心・安全を最優先に対応し、保護者への周知方法の更なる徹底を検討している。

A 環境面

・運動スペース（3 階）とフリースペース（2 階）に分かれ、十分なスペースを確保されている。

B 児童への支援内容

・活動プログラムが工夫され、サッカー以外の運動や創作活動も楽しく継続して参加できている。

C 事業所からの情報発信

・公式アプリや LINE で情報発信はされているが、月間プログラムスケジュールの事前発信が望まれている。

D 非常対応

・緊急時対応の周知と、子どもの安全に関する連携の強化が求められている。

事業所内での分析

【共通点】

職員・保護者ともに、活動スペースが十分に確保されている点や、児童が楽しく継続して活動に参加できている点を評価しています。また、公式アプリや LINE を活用した情報発信や、安心・安全を最優先にした非常時対応の姿勢についても共通認識があり、基本的な支援体制については評価されています。

【相違点】

職員側は支援内容を「サッカー中心」と捉えているのに対し、保護者側は「サッカー以外の活動」にも期待を寄せています。また、情報発信について職員は迅速さを強調している一方、保護者は「月間プログラムスケジュールの事前発信」など、より具体的な情報提供を求めています。非常時対応でも周知徹底が保護者からは課題とされています。

分析・検討してみても…

事業所の強み

当事業所では、広い人工芝のスペースと室内冷暖房完備の環境を活かし、天候に左右されず一年中快適にサッカー療育を行うことができます。健康管理や運動能力の向上だけでなく、判断力や自己表現力、社会性まで総合的に育成できるプログラムを提供しています。雨天時も活動が可能なため、継続的な支援が可能です。楽しみながら取り組む中で子どもたちの自己肯定感を高め、対人関係スキルの向上にもつなげています。一人ひとりに寄り添い、心身の成長を支援することが当事業所の強みです。

事業所の改善点

現在、職員の専門性や具体的な人数が保護者に十分に伝わっていないため、情報提供を強化する必要があります。また、参加人数によってはスペースがやや手狭に感じられることもあり、柔軟な対応が求められます。加えて、父母会の開催や非常時対応の丁寧な説明・共有も今後の課題です。今後は、総合支援型の新体制のもと、多種多様な新プログラム支援を展開し、児童一人ひとりに寄り添ったより良いサービスの提供を目指します。

事業所の改善への取り組み

今後の改善への取り組みとして、総合支援型の新体制を活かし、多種多様な新プログラム支援の充実を図っていきます。児童一人ひとりの特性に応じた支援を行うため、支援内容の幅を広げるとともに、各種機関との連携をより一層強化し、専門的な支援体制を整備してまいります。また、職員の質の向上を目指し、定期的な研修の実施やミーティング（MT）の充実を図り、情報共有と連携を密にしていきます。さらに、業務の標準化と支援の質向上を目的に、各種マニュアルの整備・共有を推進します。これらの取り組みにより、より安心・安全で、質の高い支援が提供できるよう努めてまいります。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回の自己評価を通じて、各職員間での情報共有や業務における改善点を明確に把握することができました。日々の支援の中で見えづらくなっていた課題を整理し、共通認識を持つ重要性を改めて認識しました。また、職員一人ひとりの支援力には一定のばらつきが見られ、今後は全体の職員の質の向上と支援力の平準化を図る必要性が明確になりました。これらの課題に対して、定期的な研修やミーティングを通じた振り返り、マニュアル整備などを積極的に進め、チームとしての支援力を高めていきたいと考えています。今後も自己評価を定期的に実施し、さらなるサービス向上に努めてまいります。

事業所名： ハッピーキッズFC横浜

担当者： 遠山